

青森県 商工会報

発行：青森県商工会連合会
編集：広報編集グループ
青森市新町 2 丁目 8 の 2 6
県火災共済会館 5 F
Tel : 017-734-3394
fax : 017-773-7249

「事業承継円滑化のための税制措置等に関する意見書」採択の要望書提出!!



去る九月十一日（火）商工三団体（青森県商工会連合会・青森県商工会議所連合会・青森県中小企業団体中央会）が青森県議会（議長：神山久志殿）、県議会自由民主党会派宛に、「事業承継円滑化のための税制措置等に関する意見書」採択の要望書を提出した。

これは、地域経済と雇用を支える中小企業の活力強化や地域経済の活性化を図る観点から、厳しい経済環境の中で事業の承継により積極的な事業展開を図ろうとする中小企業の事業承継の円滑化を図るため、全国商工会連合会・日本商工会議所・全国中小企業団体中央会との協議のもと意見書の採択について要望を行ったものである。

要望内容

- 一、非上場株式会社等の事業用資産に係る相続税は5年程度の一定期間の事業継続等を前提に非課税とすべきであり、事業を承継する者の相続税負担の減免を図る包括的な事業承継税制を確立すること。
- 二、取引相場のない株式については、円滑な事業承継を可能とする評価方法の見直しを行うこと。
- 三、民法の遺留分制度などについて、事業承継の際に相続人当事者の合意を前提としつつ、経営権や事業用資産を後継者に集中できるように制度の改善を図ること。
- 四、その他、事業承継時における金融面での支援、廃業と開業のマッチング支援を行うための、事業承継関連予算の大幅な拡充など事業承継円滑化のための総合的な対策を講じること。



〔事業承継について知りたい・専門家に相談したい〕

事業承継ガイドライン20問20答(中小企業の円滑な事業承継のための手引き)の配布(中小企業庁HPから無料でダウンロードや郵送のご請求ができます。是非ご活用ください。)

<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/shoukei20/index.htm>

詳細 * 中小企業庁事業承継支援事業関連HP
http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/gb141.html

詳細 * 中小企業庁事業承継円滑化支援関連HP
http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/gb136.html



第三回親睦ゴルフコンペ 団体の部 六戸町商工会が制す!

各地区商工会会員並びに経済関係団体との親睦交流を目的に「青森県商工会連合会ゴルフコンペ」が去る九月六日（木）八甲田ビューリゾートクラブで開催されました。

県内二十一商工会と関係団体から合わせて百二十六名が参加。青空が広がるベストコンディションの中三十二チームに分かれてプレーし、団体の部では六戸町商工会、個人の部では六戸町の鈴木章夫さんが優勝、また、ベスト・グロス賞には六戸町の下田敏美さんがトータル七十五と見事な成績でした。

表彰式では各商工会から提供された、たくさんの特産品が副賞に添えられ、懇親会では皆さんお疲れの中最後まで親睦を深めていただきました。成績は次の通り

【団体の部】

- 優勝 六戸町商工会チーム
- 準優勝 東北町商工会チーム
- 第3位 青森市浪岡商工会チーム

【個人の部】

- 優勝 鈴木章夫 (六戸町)
- 準優勝 野田勇一 (六戸町)
- 第3位 古間木勝弘 (三沢市)
- 第4位 佐藤政志 (三沢市)
- 第5位 大平 茂 (三戸町)
- 第6位 大杉真一 (野辺地町)
- 第7位 助川富保 (南部町)
- 第8位 野坂正美 (野辺地町)
- 第9位 武士沢弘美 (三戸町)
- 第10位 和賀君夫 (東北町)

【ベスト・グロス賞】 下田敏美 六戸町

【ドラコン賞】

- ・南八甲田 3番 浜田慎也 (大間町)
- ・ " 5番 高橋 敏 (新郷村)
- ・奥入瀬 1番 石亀和郎 (三戸町)
- ・ " 5番 三浦洋一 (藤崎町)
- ・十和田湖 2番 加藤一史 (平内町)
- ・ " 7番 大場憲幸 (板柳町)

【ニアピン賞】

- ・南八甲田 2番 佐藤純一 (六戸町)
- ・ " 7番 助川富保 (南部町)
- ・奥入瀬 2番 福島 武 (青森市浪岡)
- ・ " 8番 下沢佳子 (青森市)
- ・十和田湖 2番 佐藤 覚 (六戸町)
- ・ " 7番 加藤雄三 (十和田湖)

あなたも始めてみませんか?

商工会推奨

ネットde記帳

インターネットで楽々経理!

- ソフトのインストール不要
- バージョンアップ不要
- バックアップ不要
- 税制改革に素早く対応
- 電子申告に対応(予定)

お持ち帰りください! 「商工貯蓄共済」にご加入の会員のみみなさまへ

商工貯蓄共済制度に「医療保障」が新登場!

医療、お子様の保障も考えてみませんか!

地域間交流事業・第1弾～「ヨソどつがる産業まつりinひらかドーム」への出店について

全出店数 57 店が一堂に会して、自慢の「いい物、いい味」を2日間にわたり地域の皆様に売り込みます。是非お越しください。詳しいイベント等のお問い合わせは、中南地区商工会青年部協議会事務局（尾上町商工会内 0172-57-2317）または県連地域振興課まで

ヨソどつがる産業まつりinひらかドーム

29日
30日
物産販売店

●平内町より活魚釣堀
●大間町よりマグロ一筋ドラヤキなど

30日
ニジマスつかみどり
(子供限定)

いい物、
いい味、
再発見。

30日
公開収録
いいば! 英語塾

29日
和太鼓演奏

29日
ジャンボピザ
(無料)

2007 9/29(土)・30(日)
AM9:00～PM5:00

ひらかドーム
【スポーツランドひらか内】

ヨソどつがるプレゼント

A賞 薄型テレビ(1名様)
B賞 ホテルアップランド宿泊券(ペア1組1名様)
C賞 温泉入浴券セット(1名様)
D賞 ニンテンドーWii(1名様)
E賞 ニンテンドーDSlite(1名様)

※会場内で500円以上お買い上げの対価に応募券を1枚お申し込みください。
※1名1口でも応募いただけますが、当選はお1人様1賞品とさせていただきます。
※当選者の発表は賞品の発送をもってさせていただきます。

ひらかドームご案内図

第3回

ヨソどつがる産業まつり

inひらかドーム

11:00～
和食販売

30日
麵食市場

参加店数
10店舗

- フリーマーケット
- ジャンボピザ無料
- 和太鼓演奏
- フリーマーケット
- ニジマスつかみどり
- クラシック車展示
- 麺食市場

- 1日目
- 2日目

主催 中南地区商工会青年部連絡協議会

共催 青森県商工会連合会・青森市商工高工会青年部・碓ヶ岡村商工会青年部・田舎館村商工会青年部・岩木町商工会青年部・大鰐町商工会青年部・尾上町商工会青年部・相馬村商工会青年部
西目屋村商工会青年部・平賀町商工会青年部・藤崎町商工会青年部

後援 財団法人むつ小川原地域・産業振興財団・中南地区商工会連絡協議会・青森県商工会青年部連合会・青森県商工会女性部連合会・中南地区商工会女性部連絡協議会
青森市商工高工会・碓ヶ岡村商工会・田舎館村商工会・岩木町商工会・大鰐町商工会・尾上町商工会・相馬村商工会・西目屋村商工会・藤崎町商工会・平川市商工会・弘前市・大鰐町・藤崎町・田舎館村・西目屋村・東奥日報社・津軽新報社・陸奥新報社・ATV青森テレビ・RAB青森放送・ABA青森朝日放送・FMアップルウェーブ
エフエムジャイゴウェーブ・タウン情報誌ふーらあ

【お問い合わせ】中南地区商工会青年部連絡協議会事務局（尾上町商工会内）TEL0172-57-2317 <http://yosodo.com>

地域間交流事業・第2弾～「青森秋の大収穫祭」への出店について

平成 19 年 10 月 13 日(土) 14 日(日)の両日、午前7時から午後5時まで、古牧グランドホテル（三沢市）敷地内「第2駐車場」一円において開催されるイベントに参加することとなりました。詳しいイベント等のお問い合わせは青森秋の大収穫祭実行委員会（事務局 ㈱三沢奥入瀬観光 TEL：0176-53-6116・FAX:0176-53-6118）または県連地域振興課まで

19 年度若手後継者等育成事業～起業家育成支援事業～ 体験！チャレンジショップ特集！



IN つがる 8月25日開催

～児童がチャレンジショップ～

つがる市の向陽小学校の6年生36人が馬市まつり会場でチャレンジショップを体験した。

未来の青森県を担う小学生に商売のメカニズムを知ってもらい、次代の商人を育てたいと、西・つがる地区商工会青年部連絡協議会（会長・斎藤徳人鱒ヶ沢町商工会青年部長）が起業家育成支援事業としてチャレンジショップを行った。児童たちは事前に商売の仕組みを学んだ後、6班に分かれて販売計画書を作成、1万円程度の資金を元手に商品を仕入れ、「幸せカラー商会」「元祖石川商店」「美肌ショップ」などと、自分たちで考えた会社名を大きく張り出し、ペン立てやガラス玉ストラップ、わら細工、ひばの木工品などを販売した。「健康にいいですよ」「とってもかわいいよ」「今日しかない限定品ですよ」などと大きな声で客寄せし、訪れた大人たちを相手に次々と売りさばいた。

全品売りさばき、約3,400円の利益をあげた班もあり、「どんどん売れて嬉しかった。またやってみたい。」などの声があがり、商売への意欲が高まった様子だった。



IN しちのへ 8月26日開催

～中学生が食品販売体験～

青森県の未来を担う若者たちに商売の仕組みを学んでもらおうと、上十三地区商工会連絡協議会（会長・千葉満横浜町商工会青年部長）は、七戸町のスーパー前で「チャレンジショップ」を開催し、地元の中学生9人が食品の仕入れや販売を体験した。

チャレンジショップは同協議会が地元の若者を対象に「自ら考え、自ら実践する力」を育む起業家育成支援事業として実施。七戸中の男子5人と横浜中の女子4人が学校ごとの2グループに分かれて、食品の仕入れからお店の設営、売価の決定、販売活動などに挑戦した。

生徒たちは、仕入れ値を少しでも安くしようと仕入れ元のスーパーと交渉しながら取り扱う商品を決めたほか、お菓子を袋に詰め合わせたり複数の商品購入で割引したりと販売方法を工夫するなどして、ライバルグループより多くの利益を上げようと躍起だった。

短い時間内で商売を体験した学生たちは、自分たちで商品を仕入れたら、価格を設定する過程が楽しかったと笑顔を見せ、将来の起業家として今回のチャレンジショップは意義あるものとなった。

IN しうら 9月9日開催 ～地元産品など販売体験～

五所川原市と北津軽郡の小学生が、市浦地区の道の駅十三湖高原に地域の名産品などを販売する出店を設け、商売の楽しさや難しさを体験した。

北五地域商工会連絡協議会（会長・今浩一板柳町商工会青年部長）が起業家育成支援事業「チャレンジショップ in しうら」として企画し、小学校の児童30人が参加した。児童たちは事前に5つの会社をつくらせて事業計画を立案。各社が同協議会から借りた3万円を元手に、五所川原市金木地区の馬肉、同市市浦地区のシジミ、板柳町のリンゴ、中泊町の農水産物など各地域の名産品を仕入れ、売値を独自に決めた。

児童たちは道の駅にやってくる行楽客らに試食品を持って近寄り「1つ食べてみませんか」「おいしいリンゴですよ」「ピールのつまみに枝豆を」などと元気に声をかけ、懸命に販売した。

地元板柳の名物を食べてもらいたいと考えて参加した児童もいて、積極的に商品を売りさばき、未来の青森県を担う子供たちの育成事業として有意義な1日となった。今会長は「子供たちの商売意欲がすごく、私達大人が負けてしまいそう」と小学生に感心していた。